

2025～2026 年度クラブ運営方針  
「一揆一揆で親睦を深めよう」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

# 東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB

2026 年（令和 8 年）1 月 28 日（水）  
第 1713 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

よいことの  
ために  
手を取りあおう



## ●本日の司会

(岡野 和弘 SAA)



## ●開会点鐘

(岩本 勝宏会長)

## ●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

## ●本日のお客様



米山記念奨学委員会・米山資金推進委員会  
委員 谷本 篤洋 様（東京恵比寿ロータリークラブ）

## ●会務報告

(岩本 勝宏会長)



皆様こんばんは。早いもので、1 月もまもなく終わろうとしています。世界に目を向けると、いまだに戦争が続いている地域があり、また年明け早々には、ある国が隣国の大統領を自国に連れ去るといふ、信じがたい出来事もありました。世の中がこれからどう

なっていくのか、不安を感じることも少なくありません。国内においても、解散や来月の選挙の話題が出るなど、非常に目まぐるしい一年になりそうですが、そのような中でも、当クラブは本日も穏やかな例会を行っていきたいと思っております。

さて、先日ガバナー補佐訪問の際にお伝えし忘れていた件がございます。国際ソロプチミスト昭島の大西会長

より、3 月 11 日（水）に開催されるチャリティーディナーショーについて、改めて PR のご依頼がありました。ゲストは、お笑い芸人のノブ&フッキーさんと、立川出身の女性歌手、三条ひろみさんです。会場はホテルエミシア東京立川で開催される予定です。ご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。

## ●幹事報告

(柴田 智幸幹事)



皆様こんばんは。幹事報告をさせていただきます。

まず、昨日 1 月 27 日（火）に開催されました米山記念奨学金セミナーに、荒川会員が参加されました。ありがとうございました。

次に訃報です。東京立川こびしロータリークラブ 2008～2009 年度会長、野村勝久様をご逝去されました。ご関係のある方で、ご参列を希望される場合は、事務局までご確認ください。

以前ご案内しました 2750 地区ゴルフ大会決勝大会の最終案内が届きました。多摩中グループから 2 クラブを選出する方式で、選出はガバナー補佐が決定するとのことです。9 月の大会では当クラブが準優勝しておりますので、選出される可能性もございます。その際は、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、本例会終了後に理事会を開催いたします。理事の皆様はお残りくださいますよう、よろしく願いいたします。

## ●卓話「米山奨学金について」

米山資金推進委員会 委員 谷本 篤洋様

## 講師紹介（荒川 義昭会員）



本日の卓話をしていただきます方をご紹介します。お名前は谷本篤洋様です。所属クラブは東京恵比寿ロータリークラブです。2017 年 10 月 3 日にご入会され、ロータリー歴は 8 年 3 か月となります。現在は 2025～2026 年度東京恵比寿ロータリークラブ副会長を務めておられます。

地区役職としては RI 第 2750 地区 2024～2025 年度米山資金推進委員長を歴任され、本年度は 2025～2026 年度米山資金推進委員としてご活躍中です。ご職業は、三井住友信託銀行 専門理事でいらっしゃいます。

## 卓話



皆様、こんばんは。私と米山事業との関わりはまだ3年目ではございますが、さまざまなご縁をいただき、本日はこのようなお話の機会を頂戴しましたこと、心より感謝申し上げます。

本日は、

- ① ロータリー米山記念奨学事業とは何か
  - ② 米山奨学生について
  - ③ 奨学生修了後の「米山学友」の活躍
  - ④ 寄付金の現状
  - ⑤ 「なぜ今、米山なのか」
- という流れでお話しさせていただきます。

### 1. ロータリー米山記念奨学事業とは

米山事業とは、一言で申し上げますと「日本と世界をつなぐ人材を育成し、世界平和に貢献する事業」です。この事業は、日本のロータリー独自の奨学事業でありながら、RIにも正式に認められており、日本で学ぶ外国人留学生を支援するものです。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会が運営し、各ロータリークラブが連携して支えています。特徴的なのは「クラブカウンセラー制度」で、奨学生を単に金銭的に支援するだけでなく、クラブとの交流を通じて「人として育てる」仕組みになっています。

### 2. 米山事業の成り立ち

米山事業の名称は、日本ロータリーの父と呼ばれる米山梅吉翁に由来します。米山翁はポール・ハリスと同年生まれで、アメリカでロータリーに出会い、日本に初めてロータリークラブを設立した人物です。同時に、信託制度も日本に持ち帰り、日本初の信託会社である三井信託（現・三井住友信託銀行）を設立しました。実は私の勤務先の初代社長が米山翁であり、個人的にも深いご縁を感じています。

米山事業は、1946年、終戦直後にスタートしました。米山翁ご自身の私費による留学生支援の志を受け継ぎ、「戦後日本が国際社会に貢献し、世界平和に寄与したい」という想いから、東京ロータリークラブを中心に基金が設立されました。設立当初から一貫して、外国人留学生支援に特化しているのは、「国際理解と親善を通じて平和を築く」という明確な目的があるからです。

### 3. ロータリーの目的と米山事業

ロータリーの定款第4条には、「国際理解、親善、平和を推進すること」が明記されています。米山事業の目的も、将来、日本と世界の架け橋となり、国際社会で活躍する人材を育成すること。まさに、ロータリーの目的を体現する事業が米山事業であるご理解いただければと思います。

### 4. 米山奨学生の現状

米山奨学事業は、日本最大級の奨学制度です。毎年約1,000人、累計では24,830人、134の国と地域に及びます。中国出身の奨学生が多いことについてご質問を受けることがありますが、日本に在籍する留学生全体の約4割が中国出身であること、また選考では国籍が偏らないよう地区裁量による調整が行われているため、最終的な採用割合は約4割に抑えられています。選考基準は、学力だけでなく、人間性、コミュニケーション能力、留学目的の明確さなどを重視し、公平性と多様性を大切にしています。

### 5. 米山学友の活躍

奨学期間を修了した方々は「米山学友」と呼ばれています。現在、日本国内に33、海外にも多数の学友会が設立され、2年に一度、世界大会も開催されています。

私自身、2023年につくばで開催された世界大会に参加し、初めてこの事業の真価を実感しました。世界各国から集まった学友同士が、日本語を共通語として交流し、「奨学金への感謝」と「恩送り（Pay it forward）」の精神を語る姿に、大きな感動を覚えました。実際に、台湾・韓国での日本人留学生支援、スリランカやタイでの地域支援、モンゴルでの日本語学校設立、中国での日本企業支援・法律相談など、世界各地で恩送りが実践されています。

### 6. 寄付金の現状

米山事業の年間寄付総額は約13億円。そのほとんどが奨学金に充てられ、運営費は約3%と非常に低く抑えられています。当2750地区では、昨年度、減少傾向から反転し、寄付額が増加しました。昭島中央RC様は特別寄付者割合100%と、大変高いご協力をいただいております。

寄付は「普通寄付」と「特別寄付」に分かれ、特別寄付は税制優遇の対象となります。寄付実績は、地区内での奨学生配置にも直結する重要な要素です。

### 7. なぜ今、米山なのか

不安定な国際情勢が続く今、私たちロータリアンに何ができるのか。その答えの一つが、多様性を尊重し、国境を越えた友情を築くことだと考えます。ポール・ハリスは1921年の国際大会で、「人々が互いを理解すればするほど、衝突の可能性は低くなる」と語っています。危うい時代だからこそ、草の根の国際理解を積み重ねる米山事業への支援が、私たち一人ひとりにできる世界平和への貢献ではないでしょうか。

本日は長時間にわたり、ありがとうございました。ぜひ今後とも、米山事業への温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 謝辞（志賀 義任会長エレクト）

谷本様、本日は誠に貴重なお話をありがとうございました。当クラブは世話クラブとして、これまで長年にわたり米山奨学生の受け入れを行ってまいりました。ここ数年は受け入れの機会がございませんが、米山奨学会の趣旨につきましては十分に理解しております。今後また何かの形でお手伝いできることがございましたら、ぜひ協力させていただきたいと考えております。

谷本様の今後ますますのご活躍を心より祈念申し上げます。



## ●二コニコ BOX

(指田 裕士親睦委員)



・谷本篤洋様  
(東京恵比寿ロータリークラブ)  
本日は、米山卓話の機会をいただき、ありがとうございます。今後とも米山事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

◎岩本会長

東京恵比寿ロータリークラブ谷本様、本日の卓話よろしくお願いたします。

○荒川会員

米山奨学委員会、米山資金推進委員、谷本篤洋様本日の卓話誠にありがとうございます。

○志賀会員

谷本様、本日は貴重なお話ありがとうございました。

・柴田幹事

東京恵比寿ロータリークラブ谷本様、本日の卓話ありがとうございます。

## ●出席報告

(桜井 慶太出席副委員長)



会員数 51名

出席義務会員 51名

本日の出席 33名

## ●委員会報告

(菅野 晋央地区大会実行委員)



先ほどチラシをお配りいたしましたが、こちらは再来週2月7日(土)開催の地区大会のご案内でございます。地区大会は、2月7日(土)13時から17時45分まで、会場は立川ステージガーデンにて開催されます。入場は12時から可能となっております。

プログラムの中で、13時18分より各クラブ紹介が予定されております。大会開始は13時となっておりますので、お時間に余裕をもってご来場いただければと存じます。なお、皆様のお席につきましては、先週岩本会長よりご説明がありましたとおり、立川ステージガーデン3階の指定エリアが、昭島中央ロータリークラブの席となっております。ご来場の際は、3階の該当エリアにお集まりください。

また、地区大会終了後の15時から18時まで、立川の「ドラクドラゴン」にて、当クラブの懇親会を開催いたします。ご参加可能な方は、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

## ●次週例会予定

(中澤 紀之プログラム委員長)

2月4日(水)

クラブ協議会「年会費について」

## ●閉会点鐘

(岩本 勝宏会長)